

大阪府自動車道路網改良計畫の確立

濱江武



近年自動車交通は著しい普及發達を遂げ、都市と云はず農村と云はず其の激増振りは驚く許りで、最近大阪府が、國府縣道中大阪市の出入口及び府下の主要地點三百三十六箇所に亘り行つた交通調査の結果に見るも、前回昭和三年に行つた調査に比較して、其の交通車重量總噸數は約二倍半に増加し、最大交通量箇所に於て乗用自動車六倍、貨物自動車三倍の増加を見、荷車、荷牛馬車は三割減殊に今春開通した新道路天王寺堺線の交通量著しく増加して、乗用の如き大阪市を中心に近府縣との間に發着する數は夥しく

遠くは名古屋まで日々定期便が出て居る有様で、自動車の經濟的輸送距離も次第に延長されて居るのを知られる。

之に對して道路の

状況を見るに、近來

餘程改良の歩を進め

つゝありとは云へ未

だ此の自動車交通に

適應し、其の機能を

充分發揮せしむべき

ものの尠いのは、誠

に遺憾に堪えない次

第である。

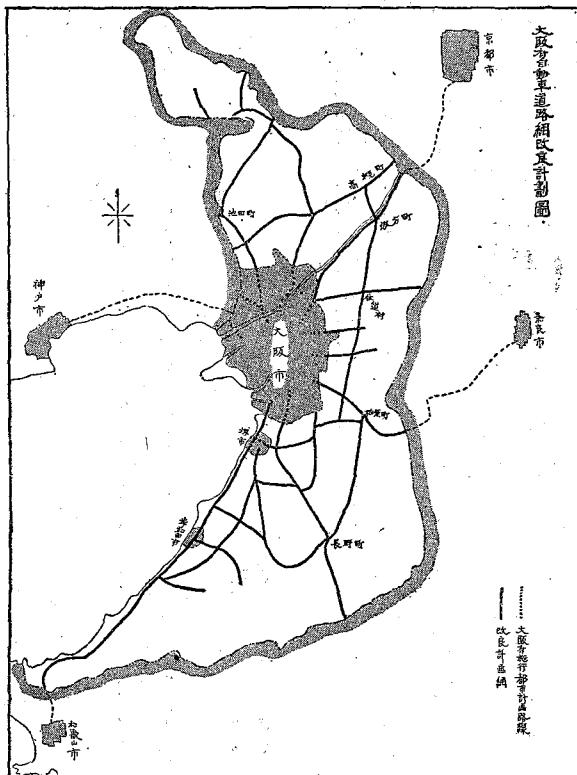
曩に大阪府に於て

は去る昭和三年大阪

新市編入區域内の都

市計畫十大放射路線改良事業を執行すると共に、之に接續する郡部の放射線延長八十九糠を改良する爲め、所謂第一

計畫ではあるが、實施の結果と現今の状勢に一層適切ならしむる爲めには、其内容に相當の修正を加ふる必要あるの



次道路改良事業を企劃し府會の議決を経たが、政府の認可を得ず實行に至らずして消滅し、漸く失業救濟事業の施行に當つて、主として此計畫が實施せられることとなつたのである。

然しながら今日の交通状勢と、失業救濟事業による道路改良工事の進捗に伴つて、永く此儘に放置することは許されない。夫れに曩の所謂第一次改良計畫は大體に於て今も妥當な

みならず、最早や今日に於ては單に大阪市の放射路線のみを以て満足することを得ない。産業の振興を期し、都市全般の發展を促す爲めには、必ずや府下全般に亘りて相當の主要路線を織り交ぜて、完全なる道路網を作るの要を認むるのである。

右の見地に基いて先般來銳意調査の結果、從前の放射路線の終點を更に次の樞要地、若くは府縣界まで延長して四十九杆を加へ、又幅員の増加、經過地の變更、路面鋪装の追加、鐵道電車との分離交叉等相當の改訂を加ふると共に是等の放射線を連繫する環狀線及地方樞要都邑を連絡する主要路線二百四十五杆を改良することとし、茲に左記の通り總延長三百七十二杆の自動車道路網改良計畫成り去八月卅一日府政關係者より成る大阪府道路調査會に諮問し、全會一致之を可決答申して、即ち本計畫の確立を見るに至つたのである。

大阪府道路改良計畫調查

高槻枚方線	三島郡高槻町地内	七・五	一、九四	二五八、八〇
池田龜岡線	豊能郡池田町 同郡東能勢村府界	一・〇	一五、八四七	一、二八五、五七〇
東能勢福住線	豊能郡東能勢村 同郡東鄉村	五・五	六、二四〇	三二一、三七〇
稗田野池田線	豊能郡細河村 同郡東鄉村府縣界	六・〇	一〇、七一〇	四一五、三五〇
高槻伊丹線	豊能郡北豐島村 府縣界	五・五	一三、八〇〇	一、四一五、六一四
福住池田線	界三島郡三島村	七・〇	一三、八〇〇	一、四一五、六一四
枚方八尾線	豊能郡昭和村地内	五・五	三、八〇〇	一三、三一五
守口龍田線	豊能郡東能勢村 三島郡三島村	六・〇	八、七〇〇	七七六、〇五
八尾藤井寺線	北河内郡守口町 中河内郡八尾町	九・〇	一八、四〇〇	二、九一、五〇
長野平野線	同郡田原村府縣界	九・五	一三、二〇〇	八七七、〇三
國分堺線	中河内郡八尾町 南河内郡藤井寺町	六・〇	五、四八〇	六六六、二〇五
柏原富田林線	中河内郡破山村市界 南河内郡松原村	六・〇	二、一七五	六六二、八四四
富田林橋村線	同郡富田林町 同郡天見村府縣界	五・五	九、三四〇	九六八、三三
長野堺線	同郡富田林町 同郡内郡長野町	九・〇	一五、四八五	一、一二七、八三
鳳長野線	泉北郡東陶器村	五・五	六、〇四五	三三、三九

父鬼堺線	泉北郡鳳町	六・〇	一〇、八五	三三、八三
長野大津線	南河内郡長野町	七・〇	一七、四〇〇	八四、九二
鳳佐野線	泉南郡北中通村	六・〇	一七、四〇〇	八五三、三三
牛瀧岸和田線	岸和田市瀧村	七・〇	一〇、三五	四二一、七〇
水間佐野線	泉南郡木島村	六・〇	六、五五	一四、五五
計			三一、五五五	三三、五五九、五三

但昭和六年度迄既支出額

三、〇五三、五二一

昭和七年度以降所要額

三四、五〇五、五八一

本計畫によれば從前の第一次計畫の工費は、千七百八十八

三萬圓に改訂され、之れに追加された新路線の工費は、千九百七十三萬圓で此内既に本年度迄に完成する部分の工費は三百五萬圓であるから今後即ち昭和七年度以降に於て要する工費は、三千四百五一萬圓となるのである。

今本年度失業救濟事業として施行して居る工費二百十九萬圓と略ほ同程度の毎年支出額とすれば、今後十五年を以て尙三、四〇〇、〇〇〇圓程度に増額すれば、今後十ヶ年を以て本事業を完成し得るのであつて、大阪府財政より見る

も誠に妥當の計畫と信する。道路調査會が成るべく速かに
是れが完成を期する旨意見を附したのは尤もの事である。

大阪府に於ては今後本計畫に基いて着々事業を進捗せし

め別途施行中の都市計畫放射路線改良事業並に本計畫外の
局部改良事業と相俟つて府下の交通將又隣府縣との連絡を
も圓滑ならしめ、以て産業の發展に資せむ事を期して居る。

簡單なる頑雪防止

川上國三郎

雪以外にあまり自然に恵まれざる北陸地方が、又其の雪
の爲に悩まされて居る事情は先年申述べた事がある。其の

悩みの中で我等土木家の最も苦手として、年々苦んで居る

のはなんと云つても道路交通に對する頑雪であらう。南國

の人が汽車旅行をして「スノウシェット」を見たり、鹿柴

に似た崩雪防止工事や發電用ダムに似たる「メーンソリ」

工を見てあれはなんだらうと不思議がつて聞くのをよく見

受けが全く情なくなる。要するに道路交通にありても、

鐵道運輸にありても、此頑雪の害と云ふものは北國人の痛

苦である。私は昨年簡単なる試みをなして其の結果が頗る
成績がよいので御紹介しやうと思ふ。

頑雪を防止するには二つの遣方があると思ふ。

(一) 頑雪が移動しつゝあるものを喰止めるもの

(二) 移動を未然に防ぐもの

(一) は「スノウシェット」とか又は大量の「メーンソリ」
工によりて之を喰止めるのであるが、此には中々金がか
かる。然し場所によりては是でなくてならぬ處も多い。

(二) 頑雪の移動滑落を未然に防ぐには地表と雪との接融